

セッション3

新しいいのちの福音

社会の中で信仰によって生きる

教師用ガイド

新しいいのちの福音

今週の読書課題

福音の光の中で巧みに生きていくためには、神との関係にあって成長していくこと、キリストに似た性質を持つものとなっていくこと、クリスチャンとしての考え方をすること、御国のための巧みな大使となる必要があります。学習者が自分の人生について考え、次の一つの質問に答えることが出来るように導いてください。「キリストが死んで私に与えてくださったこのいのち（人生）をもっと巧みに生きるために、私が今しなければならぬことは何か。」

新しいいのちの福音は、キリストにある私たちの新しいいのちの4つの基本的な要素、すなわち、領域、範囲、方向性、活力について考察することによって、私たちがこの概念について深く掘り下げて考えていけるように構成されています。

この学びの目的

1. 福音の希望について理解すること。また、それによってこの世の人生における私たちの方向性がどのように変えられるかを理解すること。
2. 個人として、また、組織として、「*宣教的に*」生きるとはどういうことであるかを学ぶ。

教師のための覚え書き

この学びは、論文で述べられているキリストにある私たちの新しいいのちの4つの要素に対応して、大きく4つの部分に分かれています。各部とも、ディスカッションが中心となった学びとなっています。

学びの構成

この課の学びには2時間半を予定してください。

15 分間

導入と祈り：『プリティ・プリンセス』

10 分間

復習 論文の要点

20 分間

ディスカッション1：活力－聖霊

25 分間

ディスカッション2：方向性

30 分間

実習3：領域－この世の中にあり、この世のものではない

15 分間

ディスカッション4：範囲－永遠

上記ディスカッション1－4について

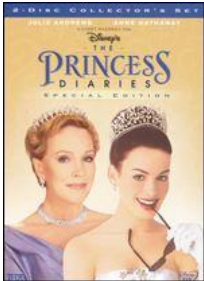
この課は長い学びとなっています。この課の学びを2回に分けて行わない場合は、4つのディスカッションから2つだけを選んで行うことを考慮してください。

20 分間

プロジェクトについてのディスカッション：それぞれに応じて

導入とディスカッション

『プリティ・プリンセス』（邦題）



出演：アン・ハサウェイ、ジュリー・アンドリュース、ヘクター・エリゾンド、ヘザー・マタラーゾ

監督：ゲイリー・マーシャル

配給：ブエナ ビスタ

上映時間：115分

部門：コメディ

年齢制限：G

あらすじ：ミア（アン・ハサウェイ）は、サンフランシスコに住む10代のドジで不器用な女の子。その彼女が自分の亡くなった父親がジェノヴィア国の王位継承権を持つ王子であったことを知る。王位が他の家族に移ってしまうのを防ぐため、女王（ジュリー・アンドリュース）は疎遠になっていた孫娘が父親の後を継いで王位継承権を持つプリンセスとなることを期待して、彼女の好意を得ようとする。ミアが自分の未来について考えている間、彼女の祖母はミアを社会的な落ちこぼれから王位にふさわしいプリンセスに育てようと懸命になる。二人がお互いについて発見したことは、血のつながりがいかに大切であるかということだった。

シーンの紹介：このシーンでは、ミアは祖母に会うためにジェノヴィア領事館に行く。彼女は自分の祖母が女王であること、すなわち、父が王位継承権を持つ王子であったことを知らない。このシーンでは、ミアは自分の残りの人生を決定づける自らのアイデンティティについて大きな発見をする。

考える材料：自分がプリンセスであったことを知って、ミアは全く新しい生き方を受け入れるべきかどうか、という問題に直面します。ミアの場合と全く同じように、私たちの新しいのちはとても重要な意味を持っており、私たちは古いのちにあった時とは全く異なった計画に従って生きていくという責務を受け入れる必要があります。

ディスカッション実習：この映画のシーンにおいてミアは自分が誰であるかを知り、新しく発見したこのアイデンティティを自分のものとしていきます。その過程において、「古い」ミアと「新しい」ミアをどのように統合させるべきなのかという問題が起こってきます。私たちにとっても、新しいのちを自分のものとしていく上で、この同じ質問がどのように私たちに影響するでしょうか。

今日の学びの目的は、私たち一人一人が自分自身に対して、「キリストが死んで私に与えてくださったこのいのち（人生）をもっと巧みに生きていくために、私が今しなければならないことは何か」と問い始めることにあります。新しいのちという観点から、グループの各メンバーがグループにどのように祈ってもらいたいのか、話し合ってください。あるいはグループのメンバーに語ってもらってください。

ここでストップして、グループで祈ります。主が一人一人にキリストにある彼らの新しいのちについて個人的に語ってくださるようお願いしましょう。

論文についてのディスカッション

25 分間

私たちの新しいいのちは、まさに、あらゆる意味において、新しいのです。時間や空間についての捉え方も違いますし、物事の考え方も心のあり方も新しくなりました。また、新しい動力源も与えられました。この論文は私たちの新しいいのちを支配している真実を、私たちが継続的に自分のものとしていくための助けとなるものです。

第1章 新しいいのち（人生）の活力

聖霊に満たされた生活

定義：いのち（人生）とは活力、あるいは動力の源です。いのちには「活力」、あるいは動力源がある。

第2章 新しいいのちは私たちに新しい方向性を与えます。

2つの例：

神が創造された秩序を理解する

十字架の道を受け入れる

定義：生きるとは、特定の仕方でその人の存在を存続させること。私たちのいのちには「方向性」がある。

第3章 新しいいのち（人生）の領域

この世の「中に」生きつつ、この世の「ものとならない」

定義：生きるとは特定の場所に住むこと。私たちの生活はある「領域」の中でなされる。

第4章 新しいいのち（人生）の範囲

霊的な鍛錬を実践する

定義：いのち（人生）とは誕生から死までの期間のこと。いのち（人生）には「範囲」がある。

ディスカッションのための質問

- 1) この論文を読んで考え方を改めるべきだと思ったことはありましたか。
- 2) 同意できない点がありましたか。
- 3) 論文中のどの聖句に最も影響を受けましたか。

他の箇所に挙げられている質問も参考にしてください。ディスカッションしないことに決めた箇所の質問も自由に活用してください。

実習 1

ディスカッション1ー新しい活力である聖霊

聖霊なくしては、キリストにある新しいいのち（人生）を生きることはできません。この実習の目的は、学習者が聖霊についての理解を深め、また語彙を増やすために、新しいことばで聖霊について考えることができるように助けることです。

注：聖霊に満たされた生活について説明する本や教材、聖書の学びはいろいろあります。もしあなたのグループの人たちが聖霊の働きについてまだ理解していないならば、この実習がその概念について理解する良い機会となるでしょう。

目的：新しい活力について書かれている章と照らし合わせながら、グループの人たちに聖霊の働きについて説明してください。

指示事項：キリストにある新しいいのちの動力源について説明する白書を書く課題を与えられたと思って、この課題に取り組んでください。あなたの聴衆は、若いクリスチャンのグループです。あなたは彼らに、どのようにして自分を神にゆだねることができるのか、変革のプロセスはどのようにして起こるのか、説明してほしいと頼まれたと考えてください。

ディスカッション2ー新しい方向性

読む：このディスカッションは、すべてを神に委ねる信仰と厳格な行いとの関係がバランスよく、神をあがめる形になるための微妙な点を明らかにするためのものです。

信仰と行いのバランスにおいて一方に極端に傾きすぎる例としては、信仰に重きを置きすぎる結果、厳格に考えて行動する責任が放棄されることがあります。その場合、私たちは「自分でしないで神にお任せしなさい」と忠告されます。こういう極端な考え方をする人は、よく考えて話し合うことが信仰の欠如の表れであるかのように思い、しばしば勝手な信仰目標をたてます。この信仰ゲームに慣れないと、目標が達成されないと当惑の感情が入ってきてしまいます。もう一方の極端な例では、懸命な行いだけが目立ちます。こちらの立場にいる人は、神を信じて神に従うというよりも、しばしば神を操ろうと懸命になっています。

こうした問題は、私たちの文化における「信仰」と「行い」という言葉の理解のされ方から発生しています。私たちの世界では、信仰とは精神的同意と同義語であると考えられるようになりました。でもそれは、この言葉の伝統的な解釈ではありません。ヘブル語を使っていた聖書の記者者にとって、信仰の同義語はむしろ従順でした。信仰と行いとは、同じことなのです。私たちは完全に恵みによって救われるのですが、私たちの神への応答は従順であって、単なる精神的同意ではありません。行いの伴わない信仰などあり得ないのです。

ディスカッションのための質問：

1. 次の引用文について考え話し合ってください：私たちの支配権は神に、そして神のために明け渡されている。けれども、それは私たちが管理する。(Albert Wolters, *Creation Regained*)
2. マタイの福音書4章19節でイエス様は「わたしについて来なさい」と言われています。この聖句は、今話し合っていることに関して、何を語っているのでしょうか。
3. 大宣教命令には、私たちがどのようにして神を愛すべきかについて書かれています。興味深いことに、

イエス様は原文に「知力を尽くして」のこぼを付け加えられました。知力をもって神を愛するとはどういうことでしょうか。知力を尽くして神を愛しなさいという命令は、どのように信仰と行いを結びつけているのでしょうか。福音主義者は知力に反対していると非難（その非難は往々にして正しい）されています。マタイの福音書 22 章 37 節と照らし合わせて考えると、この非難はどの点で、また、何故、正しいと思いますか。

ディスカッション 3 – 新しいのち（人生）の領域：この世の「中に」生きつつ、この世の「ものとならない」

ディスカッションの前提：新しいのち（人生）の領域は「この世」にあります。私たちがこの世の「ものではありません」。

この世と一体化しすぎても、また、この世から分離しても、宣教的に生きることはできません。

指示事項：以下に 4 つの課題があります。あなたのグループを 2 人ずつのペアか小グループに分け、それぞれに一つの課題を与えてください。15 分間でその作業を終えるように指示してください。グループの人たちには課題の指示を注意して読むよう伝えてください。

注：各課題の赤字のパラグラフには、課題についての追加情報が書かれています。赤字のパラグラフはニューヨーク市のリディーナー長老教会のティム・ケラー博士が書かれたものからの引用です。

宣教的であるとは – 課題 #1

あなたは今、サービス産業に従事する人をひどく軽蔑した態度で接する未信者の人と一緒にいると想像してください。あなたに与えられた課題は、なぜそのサービス産業に従事する人も尊敬に値する人間であるのか、自分が置かれている地域や状況で使われている特有の言葉で説明することです。ある特有の言葉で話すとはどういうことなのか、以下の文章を参照してください。

宣教的な人たちは、自分が置かれている地域や状況で使われている特有の言葉を話す

私たちの言葉や話し方は、私たちがどのような者であるかを定義し、社会における位置を示します。私たちは言葉の使い方によって人々を受け入れたり、排除したり、関わったり、追放したり、興味を引き付けたり、傷つけたりします。そのため、宣教的な人たちは注意深く言葉を選び、教会の専門用語を避け、必要なときは教会の友人に対してさえ、宗教的な言葉の意味を説明します。彼らはいつも未信者がともにいるかのように話をします。部内者として語るために「私たち対彼ら」という対決的な言葉を使いません。もしそうするなら、未信者の人たちを不必要に遠ざけてしまうからです。私たちが謙虚さと喜びをもって文化と関わろうとするなら、私たちの言葉は、たとえ私たちの考え方に強く反対する人たちに対しても、優しく、考慮する価値のあるものとなるのです。

宣教的であるとは – 課題 #2

あなたが住む地域の文化の一つの側面を選んで、何が受け入れられるか、何を拒否すべきか、また適応できるものは何か、吟味してください。現実の生活の現場で、どのように適応できるか、説明してください。家族その他の人間関係や職場における、あるいは美に関しての、価値観や行いの中から選ぶようにしてください。

以下のケラー博士の赤字の説明を参照してください。

⇒何を受け入れるべきですか、拒否すべきですか、適応すべきですか。

⇒あなたの考えや意見を、宣教的な言葉を使ってどのように説明しますか。

- ⇒福音のゆえに、どのように違った生き方をしなければならないでしょうか。
- ⇒あなたは自分が同意できない文化とどのように一体化し続けることができるでしょうか。

宣教的な人たちは社会における生活と職業において訓練されている

宣教的な人たちは、社会における生活、つまり職場と地域社会での生活における未信者の価値観に対して、どのように関わればよいか訓練されていて、対応できます。彼らはクリスチャンとして考え、クリスチャンとしての特徴を保ちながら働くことが出来ます。文化におけるどの部分は受け入れ、どの部分は拒否し、どの部分は適応したり、改善したりすべきかを理解しています。宣教的な人たちは、彼らと大きく異なった生活をしている人々に、福音を用いて、真の聖書的な愛を示します。

宣教的な人であるとは一課題 #3

宣教的な人々で構成されたクリスチャンの共同体について説明してください。ケラー博士によるクリスチャンの共同体についての説明（以下赤字の部分）を検討してください。そのような共同体は、どのようにして、「文化に反する生き方を具現化することができる」でしょうか。

- ⇒御国の文化の要素の中で、中国文化に反する点をいくつか挙げてください。
- ⇒クリスチャンたちがこれら御国の要素を具現化したとしたら、どのような形をとるでしょうか。
- ⇒それはグループの人たちに実際的にどのような違いをもたらすでしょうか。
- ⇒あなたが仮定した教会を評価してください。どの点が強みですか。どんな問題を抱えていますか。

宣教的な人たちは文化に反する、あるいは未信者の人々との直観と相容れない、クリスチャンの共同体を作る

宣教的な人たちは、共同体において単に建て上げ合う関係を築くだけでなく、文化に反する生き方を具現化します。クリスチャンたちが、特にセックス、金銭、権力について、どれほど異なる考え方を持っているかをこの世に示します。宣教的であるには、あわれみの行いや社会正義のための行動と、伝道の両方を、献身的に実践することが必要です。

宣教的な人であるとは一課題 #4

あなたの都市のクリスチャン文化について検討してください。教会が地域の文化との分離を選択しているところはありませんか。教会内で受け入れられている教会／クリスチャンの行いや、習慣、価値観の中で、教会が宣教的であることを防いでいるものは何でしょうか。はっきり理解するために、以下の説明文を参照してください。

- ⇒クリスチャンはクリスチャンでない人について、どのような見方をしているでしょうか。
- ⇒クリスチャンは他のクリスチャンについて、どのような見方をしているでしょうか。
- ⇒クリスチャンにとってのタブー事項がたくさんありますか。
- ⇒クリスチャンに要求されていることの中で、クリスチャンが影響を与えたいと願っている文化から不必要に彼らを分離させているものはありますか。
- ⇒それらの習慣をあなたが守るにしても、守らないにしても、その弁明を書いてください。

私たちはこの世から分離し、宣教的になることを拒む場合があります。第一に、社会と関わることによって汚されるという間違った恐れのゆえに、私たちは周囲の人々や文化的な組織から安全な距離を置き、「この世の中に生きること」と、「この世のものとなること」の両方を拒むことがあります。これは、聖

さとはこの世から分離することであるという誤った考え方をするとときに、起こります。クリスチャンの交わりの中にこもり、墮落した社会の問題に手を染めることを拒むのです。人々にイエス様について語り、彼らをこの世から連れ出すことには意欲的ですが、この世の中に生き、社会の問題を解決することははたがらない、あるいはそうすることができないのです。

ディスカッション4ー新しい範囲：永遠

ディスカッションの質問例：

- ・私たちの永遠のいのちが、私たちが死ぬ時ではなく直ちにスタートすると理解することは、今生きている人 生に意味や目的を与えますか。
- ・永遠のいのちを今生きるということは、私たちが神に栄光を帰す人生を歩むうえでどのように役立ちますか。
- ・この概念を理解することは、私たちが道徳的にまっすぐな人生を歩むうえでどのように役立ちますか。

プロジェクトのフォローアップ

最近のプロジェクトについてグループで話し合い、新しいプロジェクトを与えてください。